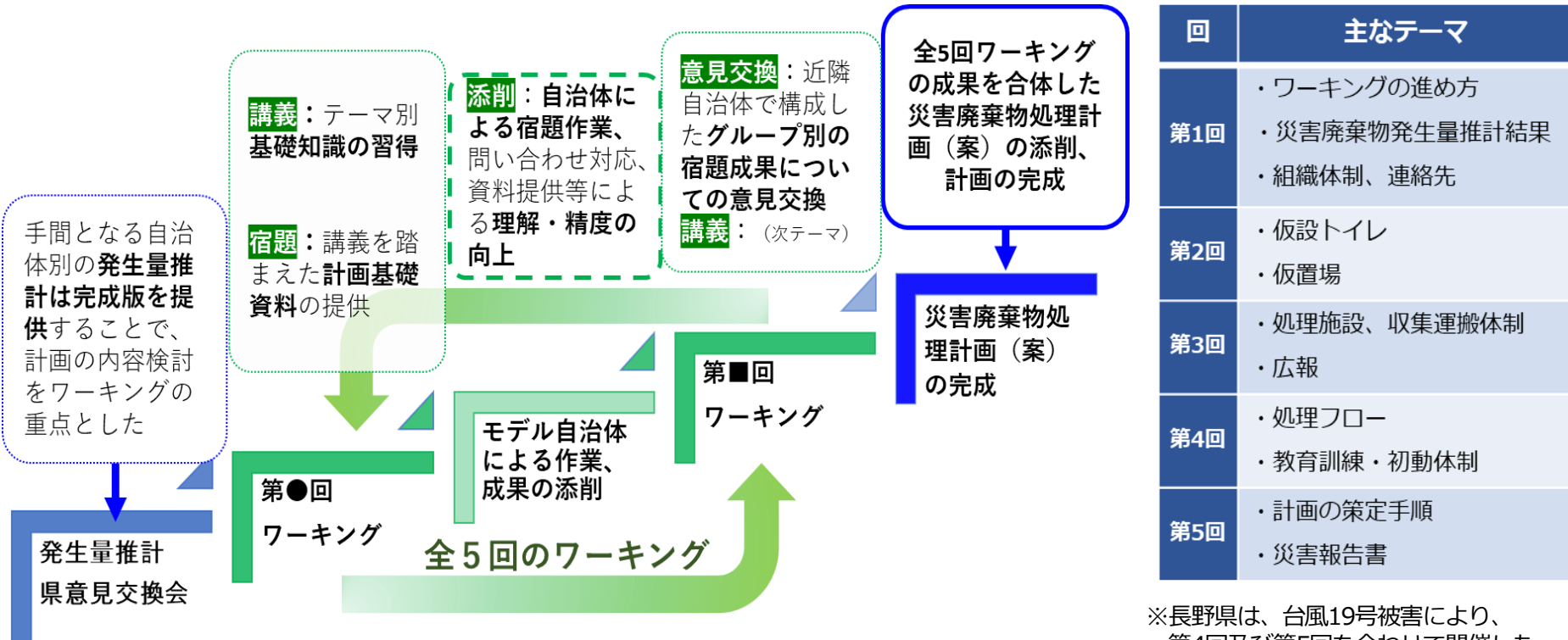


平成31年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画策定モデル事業 (石川県・長野県)

本モデル事業の特徴

- ・災害廃棄物等の**発生量推計**（地震（津波）と水害）は**完成版を提供し計画案の作成に注力**
- ・全5回のワーキング会議と**講義**に対応した**宿題形式の演習**により、各モデル自治体の災害廃棄物処理計画（案）を作成
- ・県災害廃棄物処理計画と整合を図りつつ、最新の知見を反映した**災害廃棄物処理計画の基礎となる資料を提供**



回	主なテーマ
第1回	・ワーキングの進め方 ・災害廃棄物発生量推計結果 ・組織体制、連絡先
第2回	・仮設トイレ ・仮置場
第3回	・処理施設、収集運搬体制 ・広報
第4回	・処理フロー ・教育訓練・初動体制
第5回	・計画の策定手順 ・災害報告書

※長野県は、台風19号被害により、第4回及び第5回を合わせて開催した。

図 ワーキング会議の進め方・テーマ

平成31年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画策定モデル事業 (石川県・長野県)

石 川 県

1.モデル自治体

- 県内5市6町1事務組合。
⇒Aグループ：珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町
Bグループ：白山市、能美市、川北町
Cグループ：かほく市、津幡町、内灘町、河北都市広域事務組合

2.モデル事業の取組方針

- 県内市町の処理計画策定率は低い状況であることから、本事業により処理計画策定の促進を図る。
- **地域や処理体制に対応したグループ化**により、処理の特徴を踏まえた意見交換を実施。

3.モデル事業の実施内容

①災害廃棄物等の発生量推計

- 発生量推計に係る**県との意見交換会を実施**し、被害想定と推計方法を整理。
- **モデル自治体ごとに最大規模の被害想定**となる地震（津波）と水害による災害廃棄物等の発生量を推計。

②ワーキング会議の開催と宿題形式による演習

- **講義による知識の習得及び宿題形式の演習**により、災害廃棄物処理計画を策定するための一連の作業を支援。
- **組合が参加したことで、組合（処理施設）及び組合構成市町村が一体となった意見交換を実施、計画づくりへの反映**ができた。

③災害廃棄物処理計画（案）の作成

- ワーキング会議と宿題形式の演習の成果に基づき、モデル自治体ごとに災害廃棄物等処理計画（案）を作成。

長 野 県

1.モデル自治体

- 県内7市2町2村。
⇒グループ1：中野市、飯山市、須坂市、野沢温泉村、木島平村、山ノ内町
グループ2：佐久市、東御市、佐久穂町、駒ヶ根市、小諸市

2.モデル事業の取組方針

- 県内市町村の処理計画策定率は低い状況であることから、本事業により処理計画策定の促進を図る。
- **地域や処理体制に対応したグループ化**により、処理の特徴を踏まえた意見交換を実施。

3.モデル事業の実施内容

①災害廃棄物等の発生量推計

- 発生量推計に係る**県との意見交換会を実施**し、被害想定と推計方法を整理。
- **モデル自治体ごとに最大規模の被害想定**となる地震と水害による災害廃棄物等の発生量を推計。

②ワーキング会議の開催と宿題形式による演習

- **講義による知識の習得及び宿題形式の演習**により、災害廃棄物処理計画を策定するための一連の作業を支援。
- **モデル事業中に発生した台風19号（2019.10）により被災したモデル自治体の被災経験、事前準備（計画）の必要性をワーキング会議で共有**

③災害廃棄物処理計画（案）の作成

- ワーキング会議と宿題形式の演習の成果に基づき、モデル自治体ごとに災害廃棄物等処理計画（案）を作成。